



学校通信

夕陽丘

第8号



祝 卒業 ~ 卒業生諸君の活躍に期待 ~

校長 安松 秀

59期生の皆さん、ご卒業、誠におめでとうございます。高校時代は人生第2の誕生ともいわれ、高校での学びはとても大切です。本校は、教育界が大きく変革する中、新しいシステムを導入しながらも、脚下照顧、知育・徳育・体育の不変の教育理念をゆるぎなく堅持し、普通科と音楽科の併置により一層豊かな生活体験ができる本校特有の恵まれた環境の中で、教科学習・部活動・国際交流など質量ともに豊富で充実した教育活動を展開しています。昨年はさらに百周年記念事業という貴重な行事もあり、その中で皆さんは勤勉実直に勉学に励み大きく成長されました。特に59期生は、真摯に粘り強く努力したことが多くの皆勤者・精勤者の受賞に象徴されています。これからは、本校で培った力を大いに発揮し、日本の伝統的精神を堅持しながらグローバルな視点を持って社会の発展に貢献して下さい。

和魂洋才という言葉があります。これは、明治時代、外国の文化が大学日本に押し寄せてきた頃、これからの日本人は日本固有の伝統的精神を堅持するとともに欧米の最新の知識や技術や学問を修めた人間になるべきだということに使われました。今日の日本社会は、欧米の文化や考え方に支配される傾向にあり、あらためて日本の良き伝統・文化を尊重し再興することが求められています。

日本の伝統的精神の一つに「和をもって尊しとなす」があります。これは、決して付和雷同を意味するのではなく、確固たる自己を持つもの同士がお互いの違いを認め合い協調するという実に崇高な営みです。効率や成果を必要以上に求め、対立抗争によって発展するという発想に覆われている現在の状況から、「和をもって尊しとなす」の精神は、清き心、明き心、直き心などの日本の情緒とともに社会の発展や平和のために今必要です。

グローバルな視点も、国家の概念を超えて世界的な観点に立つことが求められる現在において重要で、地球の温暖化や鳥インフルエンザ、SARS、地震対策、食糧問題などの地球的規模に立たなくては解決しない問題が山積しています。経済においてもユーロ圏のように国を超えた枠組みがあり、情報も国境がなく世界中を駆け巡っています。今や一国の利益だけを考えるだけでは立ち行かない時代になり、グローバルな取り組みは今後あらゆる分野で進展するものと考えられます。

卒業生のみなさが、日本の伝統的精神を持った地球市民として、世界の発展と平和に大いに活躍されることを心より期待し、あわせてご健康とご多幸をお祈りします。

発行 〒543-0035 大阪市天王寺区北山町 10-10 大阪府立夕陽丘高等学校

TEL 06-6771-0665 FAX 06-6771-6267 E-mail: z-yuhigaoka@sbox.osaka-c.ed.jp

ホームページ <http://www.osaka-c.ed.jp/yuhigaoka> (題字 森 敏行先生)

いよいよ最上級生に！

第2学年主任 礒塚 俊夫

4月から君たちは3年生、夕陽丘高校の最上級生になります。いろいろな行事やクラブ活動でも、先頭に立って後輩たちを指導していく立場になります。こういう先輩がいてくれたらうれしいなあと、君たちが1・2年生の時に願っていた3年生になるように、努力してほしいです。

夕陽丘で過ごすことができるのも、あと1年だけ。しかも、あっという間に過ぎてしまう1年です。この間に、自分の進む道を考えて決めていかなければいけません。そして、その夢を実現するための学力をつけていくことも必要です。そのために、まず、この一ヶ月間の春休みは、基礎的事項の復習に徹することが大切です。土台となる基礎学力の確立なくして、応用へ進むなんてことは考えられません。

勉強の仕方に迷っている人も、進路に悩んでいる人も、遠慮せずに先生方に質問しましょう。きっと適切なアドバイスをもらえますよ。先生たちをもっともっと活用して欲しいです。

学習面だけではなく、同時に、この最後の1年間で60期生みんな楽しんで欲しいという欲張った願いもあります。君たちならできます。充実した、思い出に残る1年にしましょう。

遺伝子と話そう

第1学年主任 津村 知宏

生き物の生まれる確率は、「一億円の宝くじに連続で百万回当たったのと同じぐらいの奇跡で、宇宙で最も神秘的な出来事である」と木村資生さん(中立的進化論を唱えた遺伝学者)が述べています。このような話を聞くと、人間はこの世に生まれてきただけでも「奇跡中の奇跡」であり、素晴らしい存在だと自覚させられます。その中でも遺伝子には、奇跡と驚きがいっぱいです。たとえば、人間の遺伝子情報は千ページの本が三千冊(三十億ページ)にもおよぶ膨大な情報量で、それが60兆個もの細胞一つ一つへ同じように組み込まれています。また、この遺伝子情報、ヒトが使っている割合は全体のわずか5~10%でしかなく、残りのほとんどが眠っているそうです。

ところがヒトは、ある環境に巡り会うとそれまで眠っていた遺伝子が「今がチャンスだ！待ってました」と活発に働き出すことがあるそうです。なぜなら、このような時は心を入れ替えることができ、その心の変化により遺伝子を活性化できるからです。もうすぐ2年生。次の階段(チャンス)は、もう目の前です。この春休み、生まれてきた奇跡に感謝し、次の目標へ向けて眠っている遺伝子に声をかけてみませんか？貴方の心が新たな一歩を踏み出した時、遺伝子が目覚めてくれるかもしれません。

□ 修学旅行について

平成18年12月31日に予定先のタイで爆破テロがありました。
様々な情報(現地情報、他校の動向、他の海外実施が可能か?)を
検討した結果、現在は、行き先を国内に絞って計画しています。

当面の日程

- 3月 9日(月) 試験返却・スポーツ大会
- 3月15日(木) 終業式 (13:00~登校禁止)
- 3月15日(木) から23日(金) 10:00まで校舎内立ち入り禁止
- 3月20日(火) 教科書販売 新2年 10:00~ 本校食堂・校舎内立ち入り禁止
新3年 13:00~ 本校食堂・校舎内立ち入り禁止
- 4月 9日(月) 始業式 (遅刻しないように定刻に登校しましょう)

保健部より

～ あなたの1年間は有意義でしたか？～

自分なりの前向きな毎日でしたか？

「今年度は、何か変わったことはありましたか？」

「あなたは、自分の体のサインに気をつけていましたか？」

「次の1年に向かっての目標を立てましたか？」

・・・と、一人一人に訊いてみたいです。

誰かと比べるのではなく、自分なりでいいんです。結果の良し悪しではなく、どれだけ前向きに生活できたかを思い返してみてください。

今年度の保健室は、今までより大幅アップの1500件を越える人たち（延べ人数）が来室しました。特に今年は11月が盛況で、毎時間誰かが入れ替わりベッドで休養していました。ノロウイルスに苦しめられた人もいたし、季節の変化が急にやってきて、寒暖の急変化に体が追いついていかなかった人もいました。異常気象は地球レベルで私達に警鐘を鳴らしているのではないかとされています。個人で対策を立てるだけでは無理だということでしょうか？でも、各自の努力の積み重ねが大きな成果を生み出すのです。

新しい年度は、しんどいからとあきらめないで、一步を踏み出す勇気をもって、「自分もやればできる！」という達成感をぜひ味わってほしいものです。

くじけそうになるかもしれません。投げ出したくなるかもしれないけれど、そんな時には、支えてくれる仲間や先生、そして家族が見守っていることを忘れないで下さい。

「結果は後からついてくる！」あなたも実感してみませんか？

国際交流委員会より

2006年度もたくさんの国際交流事業を行ってきました。参加した生徒や保護者のみなさんからは「貴重な体験させてもらいました」「一生忘れられない思い出になりました」という感想もいただいています。

- ・ 短期・長期留学生受け入れ（フランス、中国）
- ・ 外国からの本校訪問・交流（台湾、韓国）
- ・ 韓国への修学旅行
- ・ ハワイ・プナホウ高校とのインターネット会議
- ・ ウィーン音楽研修（3月23日～31日実施予定）

2007年度実施予定行事

- ・ 5月 オーストラリアからの高校を受け入れ予定（ホームステイ2泊含む）
約20人の生徒が本校を訪問する予定です。2泊3日の滞在予定で、2泊のホストファミリーを募集する予定です。
- ・ 8月 ニュージーランド英語研修予定
7月26日（木）～8月9日（木）〔15日間〕に実施します。
保護者向け説明会を4月に行い、申し込みはその後を予定しています。
詳細は3月終業式に配布します。

ハワイとのテレビ会議

2006年12月6日、2007年1月25日、2月9日の3回ハワイのプナホウ高校との間でテレビ会議を行った。昨年59期生2年7組との間で初めてのテレビ会議交流を試み、本年60期生2年7組との間でさらに発展した交流が行われた。交流テーマは昨年同様、相互の文化理解だったが、テーマ実現のため、プナホウ高校での日本語卒業式に歌う歌をそれぞれ5グループに分かれて相互協力で作詞作曲し、合同演奏しようという試みであった。



高度な共同作業を必要とする交流のため、テレビ会議前からインターネットの掲示板を通じて情報交換を行い、第1回の会議に臨んだ。第1回目は本来の予定ではもっと早い時期を予定していたが、実施当日機器のトラブルのため、思うような結果にならず、急遽12月6日に臨時の会議を持つことになった。最初の顔を見ながらの交流なので、相互に自己紹介をし、事前に見ていた卒業式のビデオについての感想を話したり、質問をしたりした。

第1回会議後、掲示板を通じてプナホウ高校生の作詞が送られ、日本語の不備な点などを指摘して歌詞を作っていた。この間プナホウ高校側では、交流をイメージしてグループごとに絵を描き、ネットを通じて画像を送ってきたりし、さらに交流が深まっていった。できあがった歌詞をもとに作曲し、ある程度できあがった段階で第2回会議に臨んだ。



第2回会議では、作曲の進行状況の報告が主な内容となった。できあがっている部分を演奏し、感想を聞いてさらに充実した内容に上げるための相談が行われた。また、プナホウから絵が送られてきたのに応え、こちらでもグループごとに絵を描いておいて披露した。この絵は会議後、電子ファイル化して

ハワイへ送られた。

翌日から、会議の内容をもとに曲の完成に向けて取り組んだ。1週間で曲を完成させ、歌入り、伴奏のみの2種類の曲をハワイに送り、プナホウ生に練習してもらおう要請をした。もっとも、第3回の会議はその翌週の金曜日（ハワイでは木曜日）で、曲の録音が金曜日だったため、送信が土曜日になり、ハワイは1日の時差があるとはいえ、休日になってしまったので、あまり練習時間はとれなかったようである。

第3回は、こちらの演奏に合わせて、プナホウ生が歌うという展開であった。練習時間が少なかったにもかかわらず、上手に歌えており、さらに、歌詞に合わせて手振りをするというパフォーマンスも見せてくれ、ハワイの高校生の芸達者ぶりに感動した。インターネットを通じての交流で少々タイムラグはあったが、見事に合同演奏を行い、双方が満足してテレビ会議を終わった。

今後は、音質のよい演奏をハワイへ送り、歌ってもらう予定になっている。5グループの歌のうち1曲だけを選んで卒業式に歌うということで、歌われない作品ができるのは少し残念ではあるが、素晴らしい作品が選ばれるものと期待している。

学力向上拠点形成事業中間報告

担当： 英語科 高江洲 良昌

理科 山下 尚紀

1. 学力向上拠点形成事業とは

本校は本年度より3カ年間、文部科学省より「学力向上拠点形成事業(高等学校)(確かな学力育成のための実践研究事業)」に府立では新1学区の三島高等学校、新2学区の交野高等学校、新4学区の和泉高等学校、国立では大阪教育大学附属高等学校平野校舎及び天王寺校舎とともに指定されています。これは「都道府県教育委員会との連携・協力の下、地域の実情や課題に即した『確かな学力』の育成のための実践研究を実施し、その成果の普及を図ることにより、公教育の質の向上に資する。」ことを趣旨としています。

2. 本校での取り組み(研究テーマ)

本校では「本校で取り組んでいる特色のある英語教育と国際交流行事などが、生徒の英語の学びにどのように効果があるのかを、61期生の3年間の生徒の育ちを多面的に測定・評価することで明らかにしていき、より効果的な英語教育法や国際交流のあり方について探る」ことをねらいとして研究をしています。

本年度は、「音声による英語理解を中心とした英語の授業、また放課後等を実施する補習講習がどのように生徒の変容に寄与するか」について、個々人の英語の成績の推移等の分析を通して明らかにすることについて研究しています。

先日の1月29日に本校で教育委員会、研究指定校及び学識経験者として大阪教育大学教授が集まり、本校英語科の高江洲教諭の研究授業をした後、研究協議会が開催されました。その中で、本校の英語教育について大変高い評価をいただきました。

3. 来年度の展望

本年度は授業や講習という生徒に直接働きかける活動を中心に取り組みました。その結果については現在分析中です。

来年度は海外英語研修や英語暗唱コンクール等の行事(特別活動)が生徒の英語学習のモチベーションの向上にどのように寄与するかといった、動機付けの効果を中心に研究する予定です。また、外国語教育に関する大学教授(東京外国語大学教授を予定)の講演会及び本研究担当者との指導助言会なども計画しています。

これらの研究成果がまとまりましたらHP等でご報告する予定です。どうか、よろしくご協力願います。

部活訪問 第1回

第1回は男子バスケットボール部を訪問しました。

今年、顧問に体育科の湯浅剛先生が着任され、部長の2年6組高山浩司を中心に1・2年の部員マネージャー併せて22名で活動しています。

平成18年度新人大会においては久方ぶりに中央大会に残る快挙を成し遂げました。今大会では3回戦において、1点を争う大接戦の末勝ち残った事は大阪日日新聞にも大きく報道されました。次の4月の公式戦も楽しみです。部員の皆さんの健闘を祈ります。



新人大会結果

東地区大会

1回戦	夕陽丘	対	此花学院	87	12
2回戦	夕陽丘	対	清教学園	98	69
3回戦	夕陽丘	対	東大阪大学柏原	74	73

4回戦	夕陽丘	対	東住吉総合	42	64
-----	-----	---	-------	----	----

中央大会

1回戦	夕陽丘	対	桜宮	50	80
-----	-----	---	----	----	----

(写真の白いユニホームが夕陽丘です)

部長の2年6組 高山幸司君の談話

今回の新人大会、レギュラーを取るために必死に練習に取り組んだ。でも、僕はレギュラーになれなかった。しかし、今のチームでは「あの5人がレギュラーにふさわしい、バランスが取れているんだから、仕方がない事だ」と考えた。そして、新人大会を迎えた。

4回戦、対戦相手は強豪の東住吉総合である。レギュラーじゃないが、僕はキャプテン。一番気合いが入っていないといけない。チームを引っ張っていかないといけない。こんな事ばかり考えてしまって、本当に僕はばかだなあと思った。でも、本当にレギュラーの人に頑張ってもらいたかったし、今、自分が出来る事をしっかりやって、チームをサポートしようと思っていた。みんなすごく頑張って、7点リードして後半を迎える事ができた。後半は相手のDFが激しくなり、体力が続かず、崩れてしまい、20点差で負けてしまった。反省の上で対桜宮戦、前回の試合で東口晃太郎君が怪我をしてしまい、僕がスタートメンバーになることになった。でも、他の4人と比べられるかなとすごく不安になった。とにかく、強気で行こうと思った。

桜宮戦、みんな頑張っていたけど、相手のスリーポイントがすごく入って、リードされてしまい、そのまま後半に入ってもシュート率が上がらず、最終的に30点差で負けてしまった。僕はスタートで出て、全くチームに貢献できなかった。桜宮という看板にびびってしまったのかもしれない。みんなの足も引っ張ってはいけないというプレッシャーに負けたのかも知れない。

今回の試合を通じて、メンタル面、体力、シュート力、相手に当たり負けしない身体、リバウンドももっと頑張らないといけないなと思った。この大会で反省した事を次の大会へ向けて、個人に関しても、チームに関しても改善していきたい。1年生もベンチの人も頑張って、6番7番手でも試合に出られるようになって、もっと、チームが安定して欲しいと思う。

訃報：本校新制4期卒業生で紫陽会会長・音楽科非常勤講師の木川田 誠先生が去る2月19日に永眠なさいました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

編集後記：今年はいつ厳しい寒さがやってくるのかと心配していたら、校庭の梅・沈丁花は咲き終わり、雪柳もちらほら咲き、桜さえ咲きそうな気配です。早足でやってくる春を感じる間もなく、あわただしく時は過ぎて行き、今日はいよいよ卒業式です。毎年、すがすがしさの中に寂しさを感じる日。卒業生の将来に胸ふくらませ、きらきら光る目を来年も見たいものです。